

第 130 回八大学工学関連研究科長等会議議事録

日 時 平成 27 年 9 月 18 日(金)13:40～17:10
場 所 ホテルメトロポリタン仙台 3F 曙
出席者 会員等(研究科長等、副研究科長等、運営委員)
議題等

1. 報告事項

- (1) 第 129 回八大学工学関連研究科長等会議議事録確認
- (2) 博士人材提言のフォローアップ報告
- (3) 各大学における博士人材育成に関する G P 報告
- (4) 第 5 回世界工学会議への参加・出展について
- (5) 日英国際交流について

2. 協議事項

- (1) 今後の達成度調査の進め方について
- (2) 平成 27 年度博士フォーラムの企画について
- (3) 平成 27 年度八大学工学系連合会からの提言について

< 休 息 >

3. 講 演

講演Ⅰ 東北大学高度教養教育・学生支援機構 高橋富男氏
講演Ⅱ 文部科学省高等教育局専門教育課長 北山浩士氏

4. 連絡事項・今後の予定について

配布資料一覧

- 資料1 第 129 回八大学工学関連研究科長等会議議事録 (案)
- 資料2 博士人材提言のフォローアップ活動報告
- 資料3 各大学からの博士人材育成に関する G P 報告
- 資料4 第 5 回世界工学会議への参加・出展について
- 資料5 日英交流についての報告
- 資料6 今後の達成度調査の進め方について
- 資料7 平成 27 年度博士フォーラムの企画について
- 資料8 平成 27 年度八大学工学系連合会からの提言について
- 資料9 一般社団法人八大学工学系連合会のロゴ、パンフレット

会 議 要 録

開会の辞

伊藤会長(京都大学大学院工学研究科長・工学部長)から開会の挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の会議の幹事校である東北大学大学院工学研究科の小田原研究科長から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条の第 4 項に従って幹事校代表者の滝澤東北大学大学院工学研究科長を議長に選出した。

日程説明及び配付資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配布資料の確認があった。

議 事

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認(資料 1)

第 129 回八大学工学関連研究科長等会議議事録(案)を確認した。

(2) 博士人材提言のフォローアップ報告(資料 2)

資料 2 により、「博士人材育成に関する提言」について、前回常設会議以降のフォローアップ活動の報告があった。5 月 13 日の日本経団連・産業技術委員会・産学官連携推進部会との意見交換、同日午後に文部記者会でのプレスリリース、9 月 14 日の研究産業・産業技術振興協会との意見交換会が報告され、本博士問題については今後も継続的に対話活動を継続することとした。

(3) 各大学における博士人材育成に関する G P 報告(資料 3)

博士人材提言のフォローアップと位置付けて八大学の博士人材育成に関する取り組みに関する GP 報告が取りまとめられた。八大学の取り組みについて伊藤会長からまとめて報告の後、東北大学と東京大学から個別の施策の説明があった。今後もこの手の情報共有を進めていくこととした。

(4) 第 5 回世界工学会議への参加・出展について(資料 4)

来る 11 月 30 日から 12 月 2 日の 3 日間、京都国際会館で開催される「第 5 回世界工学会議(World Engineering Conference and Convention、通称 WECC2015)」について、資料 4 を用いて会議の内容説明が行われ、各大学に参加が勧められた。

また、WECC 組織委員会から八大学にオファーされた技術展示への出展について、展示の準備の計画説明と協力要請が行われた。

(5) 日英国際交流について(資料 5)

東工大・岸本先生から、次週開催予定の日英ワークショップ、日英工学系ミーティングについての説明があった。また、クイーンエリザベス工学賞”Young Ambassadors”の募集について紹介された。

2. 協議事項

(1) 今後の達成度調査の進め方について（資料6）

今後の達成度調査の今後の進め方について、運営員会・達成度調査分科会の検討結果が伊藤運営委員長から説明された。今年度は、「達成度調査のプラットフォームは連合会が維持し、各大学にて達成度調査の必要性を判断に基づいて、自学の調査報告書作成費を負担する形で大学の実情に合わせた達成度調査の実施・必要性の吟味を進める。」という方針で臨むこととした。

(2) 平成27年度博士フォーラムの企画について（資料7）

伊藤運営院長より、運営委員会において今年度からの新しい博士フォーラムの取り組みを検討したことが報告され、博士フォーラム幹事校の阪大・基礎工の田中分科会主査より、「博士学生の交流から博士学生の意見を教員が聞く会への方針転換」という新しい考え方とプログラムの提案が説明された。また河原研究科長より、12月4日予定のフォーラムへの各校からの若手教員派遣の依頼があった。

(3) 平成27年度八大学工学系連合会からの提言について（資料8）

前回常設会議で決めた今年度の提言テーマ「基礎研究力の強化」について、運営委員会で検討経緯が伊藤運営委員長から報告され、阪大・工・井上提言分科会主査より、今回の提言作成の基本的考え方と素案が説明された。今から約半年をかけて分科会で提言作成作業を進めるので、会員から意見をもらえるよう要請があった。

3. 講演会

(1) 東北大学 高度教育・学生支援機構の高橋富男先生から、「東北大学における高付加価値博士人財の育成とキャリア支援の取り組み」と題して講演があった。（資料10）

(2) 文部科学省高等教育局専門教育課の北山課長から、「高等教育を取り巻く最近の情勢について」と題して講演があった。（資料11）

4. 連絡事項・今後の予定について

(1) 資料9に基づいて事務局より、一般社団法人八大学工学系連合会のロゴ、および、一般社団法人八大学工学系連合会の紹介パンフレットの紹介があった。

(2) 次回の常設会議について、幹事校の光石東京大学大学院工学系研究科長より、来春の常設会議は平成28年4月22日（金）にKKRホテル東京で開催予定とのアナウンスがあった。

(3) 次々回の常設会議について、幹事校の名和北海道大学工学研究院長より、来年秋の常設会議は平成28年9月30日（金）に札幌の全日空ホテルにて開催予定とのアナウンスがあった。

以上をもって第130回八大学工学関連研究科長等会議を終了し、滝澤議長が閉会を宣言した。

以上